



令和7年2月26日

福生市 定例記者会見資料

資料 3-12

～「日本酒」を基軸に市の観光政策が本格的に始動～ 令和9年3月「(仮称)福生市観光振興計画」を策定

福生市は、観光を地域の発展における起爆剤とするため、福生市観光協会等と連携し、令和9年3月を目途に「(仮称)福生市観光振興計画」を策定するための経費を令和7年度当初予算に盛り込みました。

当事業に伴い、2月13日福生市の観光に携わる関係機関の代表から構成される「福生市観光振興計画策定協議会」が発足。今後、観光資源の基礎調査等を行ったうえで、当協議会を中心に策定作業を進めていきます。

市の観光行政について今後の方向性を明確にすることで、観光資源を最大限に引き出し、地域の活性化を図ります。

■福生市観光計画策定の背景

昨年12月に日本の「伝統的造り」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを受け、日本酒は市の主要な産業のひとつであることから、インバウンド獲得への対応など、観光政策に対する期待が高まっています。市の観光行政について今後の方向性を明確にすることで、観光資源を最大限に引き出し、地域の活性化を図ります。

■日本酒とそれ以外の福生市のポテンシャル

都内という有利な立地にある小さな市域に、田村酒造場、石川酒造の2つの酒蔵を持つ福生市は、今後、日本酒を中心とした観光による発展が大いに期待できます。

また、日本酒だけでなく国道16号沿いの「アメリカな街並み(ベースサイドストリート)」や「アーティストのまち(さまざまなジャンルのアーティストが福生を拠点や題材にしています)」ともいべき不思議な魅力があることなど、福生市のポテンシャルは相当高いことが伺え、本計画にはそのような魅力の発信を盛り込みます。

■福生市観光振興計画の策定について

【概要】福生市の観光戦略の方向性・計画等を示した「福生市観光振興計画」を策定

〈令和7年度〉(公財)東京観光財団の補助金を活用し、ビッグデータ活用等による観光資源の基礎調査、市民・事業者への意識調査、インバウンド需要調査等

〈令和8年度〉観光庁の補助金を活用し前年度の調査結果に基づき計画を策定

【経費】14,300千円(東京観光財団9,000千円、観光庁2,500千円、福生市2,800千円)

【その他】福生市の観光に携わる関係機関の代表から構成される「福生市観光振興計画策定協議会」(令和7年2月13日発足)において策定作業を進める



令和7年2月26日

福生市 定例記者会見資料

資料 3-12

■福生市観光振興計画策定協議会

役職	氏名		備考
会長	田村 半十郎	観光協会・酒蔵	福生市観光協会 会長、田村酒造場 蔵元
副会長	石川 彌八郎	観光協会・酒蔵	福生市観光協会 会員、石川酒造 蔵元
副会長	松本 祐一	有識者	多摩大学経営情報学部 教授
委員	山崎 秀樹	観光協会・商工会	福生市観光協会 事務局長、福生市商工会 事務局長
委員	高木 誠	観光事業者	グッドライフ多摩 常務取締役
委員	向井 照雄	交通事業者	東日本旅客鉄道八王子支社 拝島営業統括センター長
委員	三宅 陽子	宿泊事業者	東横イン福生駅東口 支配人
委員	広川 恵	飲食店	The Mint Motel、BIG MAMA 経営者
委員	田村 清孝	行政	福生市生活環境部長

【問合せ】 シティセールス推進課まちなかの魅力創造グループ Tel.042-551-1699